

# 坪内 涼二

## 県議会レポート VOL.58

2025年  
(令和7年)  
9月発行

坪内涼二事務所  
〒695-0016  
江津市嘉久志町11229-8  
TEL : 0855(52)7511  
FAX : 0855(52)7510



### ごあいさつ

県議会9月定例会が、9月10日に開会しました。6月定例会閉会后、常任委員会県内調査や大阪や鹿児島への自民党青年局研修、そして裏面に記載しています竹島議連の視察など精力的に調査研究活動を展開し、知見を広げることができました。また、関東江津会や関西江津会では多くの市出身者と意見交換し、ふるさとに対する熱い想いに触れることができました。

人口減少をはじめ、たくさんの課題に直面するなか、人口減少に抗い、希望を持って住み慣れたふるさとで暮らすことができるよう、活動を通して学び得たことを9月定例会のなかで、投げかけたいと思います。

### 隠岐広域連合議会9月定例会に出席



広域議会定例会にあわせて隠岐病院を視察しました

### 9月定例会 一問一答質問

9月定例会では、以下の3項目について取り上げます。

#### ■ 県内中学生の県内高校進学について

毎年一定数の県内中学生が県外の高校へ進学しています。中学生にとって進学先の多様化は良いことですが、島根を担う人づくりの観点から、できるだけ島根で夢の実現や様々な挑戦ができる教育環境の整備が必要と考え、県の考えを問います。

#### ■ 江津地域拠点工業団地第3期造成について

江津工業団地第3期造成の進捗と見通し、江津工業団地の魅力化に江津市と連携しどう取り組んでいくのか質問します。また6月定例会で質問した電気事業について、今後の一般会計への繰り出しについて問います。

#### ■ 林野火災への対応について

県内で林野火災が相次いでいます。延焼速度が速く、地形や水利の制約に加え、消防車両の進入困難、電波が届かないなど、消火活動に困難が伴います。現場内での連絡や対策本部との情報伝達手段と連絡体制の構築について確認します。



### 活動報告



ライスセンター再整備事業完成式で祝辞を述べました



顧問を務める測量設計協会の要望活動に同行しました



防災地域建設委員会調査で江の川流域治水推進室訪問



江の川市民レガッタ大会開会式で選手の皆様を激励

1945年8月8日、ソ連は「日ソ中立条約」を一方的に破棄して日本に対し宣戦布告し、翌9日進撃を開始しました。終戦の日から3日後の8月18日、千島列島北端のシュムシュ島に上陸し、9月4日までに北方領土を全て占領しました。島民の一部は危機をおかして北海道を脱出しましたが、多くの島民は苦しい抑留生活の後、日本本土に引き揚げさせられました。

日魯通好条約(1855年)、樺太千島交換条約(1875年)、サンフランシスコ平和条約(1951年)において、樺太及び千島列島の帰属には変遷がありました。歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島は含まれておらず、北方領土はいまだかつて一度も外国の領土となったことのない日本固有の領土であることを再認識することができた、有意義な視察となりました。



納沙布岬から北方領土が望めました

## ■ 根室市役所

市長を表敬訪問し、北方領土の歴史や返還運動についてお話を伺いました。北方領土には終戦時、17,291人の日本人が住んでいましたが、元島民数は4,907人(令和7年)となり、平均年齢も89.6才と高齢化しています。ビザなし交流や北方墓参は中断し、再開見通しは立っていません。



石垣雅敏根室市長を表敬訪問

## ■ 北方館・望郷の家

北方館は、独立行政法人北方領土問題対策協会が開設し、北方領土問題の歴史的経緯を解説した資料が展示されています。望郷の家は、元島民の心の拠り所として千島歯舞諸島居住者連盟が開設し、根室市が管理しています。戦前の島民の生活関連資料などが展示されています。



択捉以南の日本の領土を確認

## ■ 歯舞漁業協同組合

納沙布岬から1.85kmの地点に中間ラインが敷かれており、その内側での操業を強られる昆布漁などの現状についてお話を伺いました。令和4年に、高度衛生管理型市場、災害時の一時避難施設、海業支援施設として一体的に整備され、地域の水産物生産・流通拠点となっています。



昆布操業の歴史についての研修

## ■ 道立北方四島交流センター

北方領土問題についての国内外の世論の喚起と、北方四島に居住するロシア連邦国民との交流促進を図る拠点施設です。設置者は北海道で、根室市が指定管理者として運営しています。北方領土に関する歴史的な写真や資料が多数展示されているほか、ビザなし交流事業で利用する対話ルームなどが設けられています。愛称の「ニ・ホ・ロ」とは、「ニッポン」と「ロシア」をつなぐ「ホッカイドウ」の交流拠点施設の意味として命名されました。



「ニ・ホ・ロ」館内を見学

## ■ 領土・主権展示館

今年4月にリニューアルオープンし「読む展示」から「体感する展示」へと生まれ変わっています。床・壁・天井に北方領土・竹島・尖閣諸島の自然を投影するイマーシブ・シアター等を導入し、領土・主権に関して実感しながら学べるようになってきました。今年11月には拡張が予定され、ワークショップやライブラリーなどが整備される予定です。修学旅行等の訪問先として選んでもらい領土問題を身近に捉えることのできる施設となっています。



イマーシブ・シアターを体感

## ■ 領土議連との意見交換

島根県が国に対して求めている6つの要望項目についてあらためて領土議連メンバーに説明しました。私からは、各都道府県が「北方領土返還要求運動県民大会」を開催しているが、島根県では全国で唯一「竹島・北方領土返還要求運動県民大会」として開催しており、竹島問題が全国的な取組になっていない現状を訴えました。竹島の日の閣議決定や政府主催の竹島の日記念式典の開催等、北方領土問題と同等の取組を求めました。



領土議連に対し要望を行いました

島根県議会議員 坪内涼二事務所

〒695-0016 島根県江津市嘉久志町イ1229番地8

TEL:0855(52)7511 FAX:0855(52)7510

MAIL:tsubo.0930@gmail.com

LINE



Instagram



Facebook



公式HP



活動報告など  
情報発信中!